

平成27年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495300095	事業の開始年月日	平成22年5月10日	
		指定年月日	平成22年5月10日	
法人名	株式会社ウイズネット			
事業所名	グループホーム みんなの家・川崎久地2			
所在地	(213-00132) 神奈川県川崎市高津区久地2-12-23			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成27年11月6日	評価結果 市町村受理日	平成28年3月8日	

基本情報リンク先 <http://www.wam.go.jp/wamappl/hyoka/003hyoka/hyokanri.nsf/pSearch3?0open>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設ではご利用者様の生活を障害せず職員の業務の効率化を上げるための施設環境の整備に積極的に力を入れております。また四季折々のレクリエーションを職員一同熱意をもって提供し、そのときの様子をデジタル機器を駆使して皆様に披露してゆくことで思い出を振り返る楽しさも工夫しております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成27年12月7日	評価機関 評価決定日	平成28年2月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、東急田園都市線高津駅より徒歩約20分ほどの住宅街の中にあるグループホームです。株式会社ウイズネットが神奈川県内にグループホームを数多く運営している一つで、同一運営法人の「グループホーム川崎久地」が隣接して建っています。

<優れている点>

地域の連携や事業所の活動を話し合う運営推進会議には、町内会の役員や民生委員、地域包括センターの職員、川崎久地・川崎久地2の家族や利用者が参加して、2か月に1回合同で開催しています。また、防災訓練も合同で実施しています。今年度、町内会に加入し、地域活動の一つに高齢者見守りの会があり参加しています。家庭訪問をして話を聞いたりしながら、事業所のもてる役割を活かしています。

<工夫点>

排泄の自立化の取組に、ユニークな工夫事例があります。これまで、声掛けや誘導で失禁も少なくなり、オムツの使用も減少し、一見自立化したように見えた利用者も、実は職員の支援に対する依存度が増した結果でした。そのため、真の自立化を促すために、職員と利用者が話し合い、できるだけ尿意や便意を自分から職員に告げて排泄の支援を受けることを両者で取り決めて支援した結果、尿意などを伝えるだけでなく、時には自らトイレに行き排泄するようになっています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム みんなの家・川崎久地 2
ユニット名	1階

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の
	○ 2, 利用者の2/3くらいの
	3, 利用者の1/3くらいの
	4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3, たまにある
	4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	○ 3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	○ 3, 家族の1/3くらいと
	4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3, たまに
	○ 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	○ 3, あまり増えていない
	4, 全くいない
66 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が
	○ 2, 職員の2/3くらいが
	3, 職員の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	○ 2, 家族等の2/3くらいが
	3, 家族等の1/3くらいが
	4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「笑顔あふれる生活支援」との事業所理念を掲げ、共有し実践に努めております。	事業所の理念は、5年前の開所時に職員が話し合い作成した「笑顔あふれる生活支援」を踏襲しています。法人の方針「原点回帰・無隅仔細・磨斧作新」も事務所に掲示しています。本人のできる事を尊重していき、達成感を味わうことができるように努めています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域のお祭りの際に神輿のルートに組み込んで頂きご利用者様にも楽しんでいただいております。また日常的に行なっている散歩などの機会には、地域住民との積極的なコミュニケーションを行っております。	今年から町内会に加入し、地域高齢者見守り会に参加しています。回覧板は情報内容により参加して、散歩時に利用者と一緒に隣へ回します。ボランティアの紹介は高津社会福祉協議会へ依頼し、大道芸やフラダンスのボランティアが来訪しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の高齢者見守り会に参加し、地域住民の訪問調査や意見交換を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	隔月で実施しており、事業所のサービス実施状況などを報告し、頂いたご意見をその後のサービス向上に活かすよう努めております。	2ヶ月に1回、隣接のグループホーム川崎久地と合同で開催しています。各ホームの家族や民生委員・自治会長・地域包括センターの出席で運営報告や利用者の方の状況を伝えています。	各ホームの運営報告書以外出席者からの意見がほとんどなく会議は短時間で終了しています。地域の方々に事業所の役割を伝え、安心して生活できる環境づくりの取り組みも期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市の生活保護課のご担当者を主に、ご利用者様の生活に必要な環境を整える為に連携を行っております。	運営推進会議の報告書などは同法人の神奈川県本部が窓口となり市町村と連携しています。生活保護課のケースワーカーが来訪しています。市からの研修に参加しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	防犯を目的とし玄関の施錠はしておりますがワンタッチで解錠は可能です。またボタンも公開しております。身体拘束についても対象者ゼロ、身体拘束に当たる行為については職員間で認識の共有が行なっております。	身体拘束委員会があり、今年は虐待防止委員会も発足しています。4月から日中に、椅子から車椅子への移動時の転倒事故が増えています。定例会ではレクリエーションでの転倒事故防止で、車いすの横付けは拘束になるのかなど話し合いをして対応を共有し支援につなげています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内の「安全対策委員会」等で学ぶ機会をもち、その内容を職員間で共有するよう努めております。また個別面談や会議の中で、注意喚起を行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度については年に1度事業所として学ぶ機会を得ており、職員全員がいつでも閲覧可能となっております。また、実際に後見人様とも連絡を常日頃から取り合い、関係性を築いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は、十分な時間をとってご本人やご家族に対するご説明を行ない、同意を得ております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様とのコミュニケーションの機会を多くとっており、聞き取ることのできたご意見等については職員間で話し合いの上、できる限り実践しております。	家族には、「ひと言通信ノート」で事業所の情報を提供しています。利用者や家族の意見は、レクリエーションに取り入れたり、誕生日に寿司の要望があると、職員と一緒にちらし寿司を作り運営に反映しています。面会時に日中の散歩の希望なども聞いています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員が管理者に対して日常的に意見や提案を伝えることができ、また会議などでも職員の意見を聞き取っており、その内容について話し合いの上反映させております。	業務の効率化について、1階は業務の流れと消毒などについての取り決めを話し合い、2階は入浴に関して早番・遅番のシフト関係について話し合っています。また、個人面談などでも意見を聞いています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事評価や個別の面談などを通して、職員の技術・意欲向上に努めております。また、各々の労働環境に合わせたプラン提示も行なっております。その上で、資格取得や勤務態度などを評価し、職員にとってプラスになるよう働きかけております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内で実施されている研修も多岐にわたり充実しており、本人の実力に応じたものを働きながら受講することができます。また、必要と思われる研修には業務の一環として研修に受講をいただいております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	社内の他事業所職員との交流や意見交換の機会は定期的に設けられておりますが、社外との同業者交流の機会はありません。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居直後にアセスメントを行ない、ご本人のニーズの汲み取り、安心した暮らしが提供できるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居初期にはご家族様からのお話を十分にお聞きできるような時間を設け、また面会時にはこちらからお声かけを行ない、コミュニケーションをとる機会を作っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族やご本人に対する状況の聞き取りやアセスメントを通して、ご本人がまず必要としている支援を、外部の資源利用も含めて検討し実施しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日常的な家事や、その他ご自分でできることはやっておくなどし、同じ生活者としての関係を築いております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人とご家族とがよりよい関係を築くことができるよう、定期的なご報告をし、また面会時などにはご相談もさせていただきます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人とのコミュニケーションを通して、ご本人が大切にしてきた環境との繋がりを聞き取り、続けていたお墓参りに行っていただくなどしている。	馴染みの人が面会に来ています。利用者と一緒に外出することはほとんどありませんが、関係が継続する様に支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者一人ひとりの性格や関係性を把握し、適切な見守りや介入を行っております。日常的に会話の橋渡しや数人でできるレクリエーションの提供などを通し、ご利用者が孤立しないよう支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	特段の実例はございませんが、ご要望によりホームにいらしたときのお写真や資料のまとめを行っております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人のお話を聞くことや、ご様子をお窥いがいすることにより、ご本人のご希望を把握し、ご本人と話し合いながら実現に努めております。	思いや意向は、訪問マッサージを受けた時の様子で把握しています。介護度の高い人には言葉ではなく、表情や仕草から（甘いものを食べるとにこりと笑うなど）対応したり察知して支援に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人の生活歴を把握し、これまでの生活の仕方を、共同生活の中でできる範囲で実現するよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活記録やその他の各種記録内容を共有し、現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	カンファレンスやモニタリングを定期的に行い、ご本人やご家族の意向をお聞きしながら介護計画を作成しております。	日々の申し送りや生活記録、健康関係書類、アセスメント表によって、カンファレンスの時に具体的な話をしてモニタリングをしています。介護計画は職員と話し合い、3ヵ月もしくは6ヵ月ごとに改めて確認し作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	生活記録の他、各種記録用紙を使用し、その時のご利用者様にあったケアを模索、実践しております。必要な場合には介護計画にも反映させております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人やご家族の希望に応じて外部の移動支援機関を利用するなどしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の医療機関や消防署、また町内会などと連携している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月二回の往診を実施しており、また必要な場合には往診医に相談の上、専門医療機関への受診などもいただいております。	入居中は協力医がかかりつけ医になることを要請していますが、利用者や家族の希望がある場合は、意向に沿った対応をしています。協力医・歯科医による月2回の訪問診療や、医療連携看護師の月4回全員対象の訪問看護で健康面のチェックが行われています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	月四回の医療連携看護師の訪問があり、ご利用者様の近況を口頭及び記録にて報告、相談をし、助言を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	サマリーの提供や、入院後の訪問による状態把握、退院に向けた病院への相談などを行っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	状況に応じて、連携医療機関やご家族とも相談をしながら重度化や終末期についての対応を検討しております。	重度化や終末期に対応する方針が重要事項説明書に明確に示されています。看取り介護の実績はありませんが体制は整っています。事業所の設備では、1階の浴室は暖房器やリフト浴機器、ストレッチャーで昇降可能な大型エレベーターが設置されています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時に必要なご利用者様の情報は一か所にまとめており、すぐに閲覧できるようになっております。また消防署による救命救急の講習を受けております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	地域住民や隣の同法人事業所と共に、年二回の消防訓練を行っております。	前年度からの課題で、災害時の非常用備蓄品管理は、現在も事業所が委託している食事サービス会社に一任しており、備蓄品目や数量、賞味期限などの管理に事業所は関与していません。現状の在庫量と品目の再点検や工夫が必要と思われます。	消防署から一時避難場所に指定されたベランダが洗濯物干し用具で一杯です。またベランダに付属の避難階段には安全柵が無く一時避難場所の安全と物を置かない習慣の改善検討を期待します。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入社時に接遇についての研修も受けており、ご利用者様への言葉遣いについては定期的に行っております。その上で、会議などを通じて注意喚起がなされております。	居室のドアには、利用者の在室時の様子を観察する小窓が設けられていますが、プライバシーを確保するため、窓枠に布片を付けて必要以外に覗かれないような工夫をしています。利用者への言葉遣いは接遇マニュアルで示す行動指針が順守されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	会話の機会を多くもつことで、ご本人の思いや希望の汲み取りを行い、自己決定に基づいた支援ができるよう努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人の生活歴を把握した上で、その時の体調や気分に合わせて対応ができるよう、スケジュールの入れ替えや変更は日常的に行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日に身につける服をご自分で選んでいただいたり、お声かけや介助による身だしなみの支援も行っております。また衣類の通販雑誌をご覧いただいて注文までを支援や、お買い物サロンの利用も行なっております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の盛り付けや配膳などはご利用者様に積極的にしていただいております。また、食事中には音楽を流し、会話を楽しみながらリラックスした雰囲気の中で食事をしていただいております。	業務効率化や職員の業務削減のため、食事作りを食事サービス会社に委託しています。家庭の調理風景と異なり、台所がドアで閉ざされていて調理中の雰囲気が伝わりにくい状況です。	「食事を楽しむ」ということはどのような事かを、今一度話し合い、家庭的な団欒のある食事風景（献立、食材、調理、料理の匂い、盛り付け、配膳、食事摂取、後片付け）への工夫検討が期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量や水分量については全て記録をし、摂取量が十分でない場合には、ご本人のお好きなものを提供するなどの対応をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後には口腔ケアをしていただき、ご本人のケアだけで不十分な場合には支援を行っております。また、歯科衛生士や歯科医による定期的なチェックも行われております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	記録によってご本人の排泄状態を見極め、職員間で情報共有をし、不要なおムツ類の使用は避けております。また適時お声掛けするなどし、なるべく自活した排泄をしていただけるよう努めております。	声掛けや誘導で失禁も少なくなり、オムツの使用も減少しましたが、実は職員への依存度が増したことも分かりました。真の自立化が可能な利用者には、職員と利用者が話し合い、尿意や便意を自分から職員に告げて排泄の支援を受けるなどユニークな取り組みも行われています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	日々の運動やマッサージ、乳酸菌飲料の提供などで、できるだけ自然な排便をしていただけるよう努めております。また排便状況を担当医や看護師に報告し、指示を仰いでおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	便宜的に入浴日を決めてはおりますが、その時のご利用者様のご様子やご気分によって時間や曜日の入れ替えや変更を行っております。また季節に合わせてゆず湯や菖蒲湯などを楽しんでいただいております。	浴室にはリフトや暖房機、エアコンなどが設置され、気持ちよく入浴できる環境が整えられています。また利用者の身体機能に対応した普通浴やリフト浴、シャワー浴、足浴、清拭などの方法で入浴サービスを提供しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中でも疲れが見られる際には休息をしていただいたり、夜間になかなか寝付けない方には日中に活動的に過ごしていただいたりと、その方に合わせた支援を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の情報についてはいつでも閲覧できるようにファイリングしており、変更時などには都度確認をしております。また薬剤師からの説明も常日頃から受けております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日常生活の中での家事をしていただいたり、タバコがお好きな方には喫煙の時間を確保するなどの支援を行っております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的に散歩に出掛けており、また、外出などでは職員の手だけでなく、ご家族様のご協力や外部の移動支援サービスの利用などにより、ご本人様の希望の実現をしております。	散歩などの外出は、安全を確保できる3：1の人数を基本とし、日中、職員が少ない中でも時間を工面し、家族からの要望に応え、外気浴や散歩に出掛けています。行事として計画した外出は、季節に合わせて神社への参拝や花見などに出掛けています。	ボランティアの活用を事故の責任面から躊躇されておられますが、外出やリビングでの見守りなどに地域資源の活用も重要と思われます。外出の活性化のためにもボランティア活用の検討も期待されます。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	原則として施設での金銭管理を行い購入代行をしておりますが、ご本人のご希望がある際やそういった買い物をする機会を設け、現金を所持・活用していただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人が手紙を出したり受け取ったり、またご家族からの電話に出てくださいたりしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	照明や音響は落ち着いた色やボリュームとしており、また季節に合わせて室内の飾付けをご利用様と共に変更するなどし、季節を感じながら心地よく過ごしていただけるよう工夫しております。	リビングや廊下には一年間の行事や日常生活を写した写真を飾り、利用者によるその時々様子を思い出して貰っています。12月にあつては、クリスマスバージョンの飾りがリビング一面に飾られ季節感を盛り上げています。食後のひと時に利用者は、職員のけん玉の妙技に見入り楽しんでます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブルや椅子の配置を工夫し、少人数で過ごせるスペースの確保をしております。また食事の際の席順などは、ご利用者様同士の関係性に配慮し、必要に応じて席替えにご協力頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ベッドとチェストは備え付けとなっておりますが、その他にご本人が使い続けてきた家具や、仏壇などを置いておられる方も多くその配置などもご本人と相談しながら決めております。	居室は個性的で、自宅での生活を伺わせるような仏壇や家族の写真、趣味の作品などが飾られています。また居室内の安全を確保するために、人感センサーやセンサーライトが設置されたり、床緩衝材を敷き詰めるなどして転倒骨折防止の対策を行っています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	分かりやすい目印の掲示や家具類の配置の工夫などによって、ご利用者様が安全にできる限り自立した生活ができるよう努めております。		

事業所名	グループホーム みんなの家・川崎久地 2
ユニット名	2階

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の
	○ 2, 利用者の2/3くらいの
	3, 利用者の1/3くらいの
	4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3, たまにある
	4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	○ 3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	○ 3, 家族の1/3くらいと
	4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3, たまに
	○ 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	○ 3, あまり増えていない
	4, 全くいない
66 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が
	○ 2, 職員の2/3くらいが
	3, 職員の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3, 利用者の1/3くらいが
	4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	○ 2, 家族等の2/3くらいが
	3, 家族等の1/3くらいが
	4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「笑顔あふれる生活支援」との事業所理念を掲げ、共有し実践に努めております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域のお祭りの際に神輿のルートに組み込んで頂きご利用者様にも楽しんでいただいております。また日常的に行なっている散歩などの機会には、地域住民との積極的なコミュニケーションを行っております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の高齢者見守り会に参加し、地域住民の訪問調査や意見交換を行っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	隔月で実施しており、事業所のサービス実施状況などを報告し、頂いたご意見をその後のサービス向上に活かすよう努めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の生活保護課のご担当者を主に、ご利用者様の生活に必要な環境を整える為に連携を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	防犯を目的とし玄関の施錠はしておりますがワンタッチで解錠は可能です。またボタンも公開しております。身体拘束についても対象者ゼロ、身体拘束に当たる行為については職員間で認識の共有が行なっております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内の「安全対策委員会」等で学ぶ機会をもち、その内容を職員間で共有するよう努めております。また個別面談や会議の中で、注意喚起を行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業や成年後見制度については年に1度事業所として学ぶ機会を得ており、職員全員がいつでも閲覧可能となっております。また、実際に後見人様とも連絡を常日頃から取り合い、関係性を築いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は、十分な時間をとってご本人やご家族に対するご説明を行ない、同意を得ております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様とのコミュニケーションの機会を多くとっており、聞き取ることのできたご意見等については職員間で話し合いの上、できる限り実践しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員が管理者に対して日常的に意見や提案を伝えることができ、また会議などでも職員の意見を聞き取っており、その内容について話し合いの上反映させております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事評価や個別の面談などを通して、職員の技術・意欲向上に努めております。また、各々の労働環境に合わせたプラン提示も行なっております。その上で、資格取得や勤務態度などを評価し、職員にとってプラスになるよう働きかけております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内で実施されている研修も多岐にわたり充実しており、本人の実力に応じたものを働きながら受講することができます。また、必要と思われる研修には業務の一環として研修に受講をいただいております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	社内の他事業所職員との交流や意見交換の機会は定期的に設けられておりますが、社外との同業者交流の機会はまだありません。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居直後にアセスメントを行ない、ご本人のニーズの汲み取り、安心した暮らしが提供できるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居初期にはご家族様からのお話を十分にお聞きできるような時間を設け、また面会時にはこちらからお声かけを行ない、コミュニケーションをとる機会を作っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族やご本人に対する状況の聞き取りやアセスメントを通して、ご本人がまず必要としている支援を、外部の資源利用も含めて検討し実施しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日常的な家事や、その他ご自分でできることはやっておくなどし、同じ生活者としての関係を築いております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人とご家族とがよりよい関係を築くことができるよう、定期的なご報告をし、また面会時などにはご相談もさせていただいております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人とのコミュニケーションを通して、ご本人が大切にしてきた環境との繋がりを聞き取り、続けていたお墓参りに行っていただくなどしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者一人ひとりの性格や関係性を把握し、適切な見守りや介入を行っております。日常的に会話の橋渡しや数人でできるレクリエーションの提供などを通し、ご利用者が孤立しないよう支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	特段の実例はございませんが、ご要望によりホームにいらしたときのお写真や資料のまとめを行っております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人のお話を聞くことや、ご様子をお窺がいすることにより、ご本人のご希望を把握し、ご本人と話し合いながら実現に努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人の生活歴を把握し、これまでの生活の仕方を、共同生活の中でできる範囲で実現するよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活記録やその他の各種記録内容を共有し、現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	カンファレンスやモニタリングを定期的に行い、ご本人やご家族の意向をお聞きしながら介護計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	生活記録の他、各種記録用紙を使用し、その時のご利用者様にあったケアを模索、実践しております。必要な場合には介護計画にも反映させております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人やご家族の希望に応じて外部の移動支援機関を利用するなどしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の医療機関や消防署、また町内会などと連携している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月二回の往診を実施しており、また必要な場合には往診医に相談の上、専門医療機関への受診などもしていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	月四回の医療連携看護師の訪問があり、ご利用者様の近況を口頭及び記録にて報告、相談をし、助言を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	サマリーの提供や、入院後の訪問による状態把握、退院に向けた病院への相談などを行っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	状況に応じて、連携医療機関やご家族とも相談をしながら重度化や終末期についての対応を検討しております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時に必要なご利用者様の情報は一か所にまとめており、すぐに閲覧できるようになっております。また消防署による救命救急の講習を受けております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	地域住民や隣の同法人事業所と共に、年二回の消防訓練を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入社時に接遇についての研修も受けており、ご利用者様への言葉遣いについては定期的に行っております。その上で、会議などを通じて注意喚起がなされております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	会話の機会を多くもつことで、ご本人の思いや希望の汲み取りを行い、自己決定に基づいた支援ができるよう努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人の生活歴を把握した上で、その時の体調や気分に合わせて対応ができるよう、スケジュールの入れ替えや変更は日常的に行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日に身につける服をご自分で選んでいただいたり、お声かけや介助による身だしなみの支援も行っております。また衣類の通販雑誌をご覧いただいて注文までを支援や、お買い物サロンの利用も行なっております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の盛り付けや配膳などご利用者様に積極的にしていただいております。また、食事中には音楽を流し、会話を楽しみながらリラックスした雰囲気の中で食事をしていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量や水分量については全て記録をし、摂取量が十分でない場合には、ご本人のお好きなものを提供するなどの対応をしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後には口腔ケアをしていただき、ご本人のケアだけで不十分な場合には支援を行っております。また、歯科衛生士や歯科医による定期的なチェックも行われております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	記録によってご本人の排泄状態を見極め、職員間で情報共有をし、不要なおムツ類の使用は避けております。また適時お声掛けするなどし、なるべく自活した排泄をしていただけるよう努めております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	日々の運動やマッサージ、乳酸菌飲料の提供などで、できるだけ自然な排便をしていただけるよう努めております。また排便状況を担当医や看護師に報告し、指示を仰いでおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	便宜的に入浴日を決めてはおりますが、その時のご利用者様のご様子やご気分によって時間や曜日の入れ替えや変更を行っております。また季節に合わせてゆず湯や菖蒲湯などを楽しんでいただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中でも疲れが見られる際には休息をしていただいたり、夜間になかなか寝付けない方には日中に活動的に過ごしていただいたりと、その方に合わせた支援を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の情報についてはいつでも閲覧できるようにファイリングしており、変更時などには都度確認をしております。また薬剤師からの説明も常日頃から受けております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日常生活の中での家事をしていただいたり、タバコがお好きな方には喫煙の時間を確保するなどの支援を行っております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的に散歩に出掛けており、また、外出などでは職員の手だけでなく、ご家族様のご協力や外部の移動支援サービスの利用などにより、ご本人様の希望の実現をしております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	原則として施設での金銭管理を行い購入代行をしておりますが、ご本人のご希望がある際やそう言った買い物をする機会を設け、現金を所持・活用していただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人が手紙を出したり受け取ったり、またご家族からの電話に出てくださいたりしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	照明や音響は落ち着いた色やボリュームとしており、また季節に合わせて室内の飾付けをご利用者様と共に変更するなどし、季節を感じながら心地よく過ごしていただけるよう工夫しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブルや椅子の配置を工夫し、少人数で過ごせるスペースの確保をしております。また食事の際の席順などは、ご利用者様同士の関係性に配慮し、必要に応じて席替えにご協力頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ベッドとチェストは備え付けとなっておりますが、その他にご本人が使い続けてきた家具や、仏壇などを置いておられる方も多くその配置などもご本人と相談しながら決めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活ができるように工夫している。	分かりやすい目印の掲示や家具類の配置の工夫などによって、ご利用者様が安全にできる限り自立した生活ができるよう努めております。		

平成27年度

目標達成計画

事業所名 GH みんなの家・川崎久地2

作成日： 平成 28年 3月 4日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を現在隣接している同社のみんなの家・川崎久地と協同でしておりますが、他の運営推進会議の平均時間が2時間と言うのが大抵のところ当施設では30分程度で終了し、地域からの意見があまり見られない点をご指摘受けました。	地域・ご家族様方の出席数を増やして、議論の生まれる環境を整えます。	年間を通して地域交流を活性化させ、またご家族様参加型の行事なども通してGHへの交流を深めていただきます。その上で、運営推進会議への積極的な参加を高めていただきます。	12ヶ月
2	13	一時避難場所に2階ベランダが指定されているが、調査当日に洗濯物が干してありました。	直ちに回収し、ご利用者様の避難において職員に周知を行ないます。	避難訓練を通して職員には避難にはどういった手段があるか学ぶ機会を作ります。また、該当箇所につきましては理解度が足りていなかったため周知行ないました。	0ヶ月
3	15	日常の食事において外部の食材配達業者と調理業者が担当しておりますが、ご利用者様の一番の楽しみが「食事」なので、業者を廃止して食事を職員が手ずからつくるべきとご指摘受けました。	食事の楽しみをつくれるよう努力します。	当社全体の方針として業者を入れているため廃止は出来ませんが、掲示してあるメニュー表での会話を増やしたり視覚以外での楽しみを増やせるよう手段を検討します。また、自分たちで野菜を育てるといった機会を作り食に対するの関心を深めます。	6ヶ月
4	49	介護や外出支援などの地域ボランティアを積極的に活用していく必要があるとご指摘受けました。	地域と触れ合う機会を増やします。	ボランティアの方々に介護責任を負わせることは方針として禁止しておりますが、外出支援業者などの活用によりご利用者様の要望に応えられるように整えます。また、ご利用者様を伴って地域との交流の機会を作ります。	12ヶ月
5					ヶ月